



The Y's Men's Club of Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUB

Bulletin
2010.2

SANJYO YANAGINOBANBA HIGASHI-IRU NAKAGYOKU KYOTO, JAPAN 〒604-8083 TEL(075)231-4388

2010.2.1発行 第24巻第8号通巻290号

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---
 京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---
 ネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かち合いましょう

クラブ主題

語り合おう ワイズで 思いやり 笑顔

会長 金丸 太一郎
 副会長 三村 良行
 書記 古川 安雄
 会計 小泉 洋



不平を言わずにもてなし合いなさい。あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

ペトロの手紙1 第4章9-10節



「第16回日本YMCA大会にて」

元日本YMCA同盟総主事 宮崎 幸雄

昨年10月30日～11月1日の3日間、第16回日本YMCA大会が静岡・御殿場の日本YMCA同盟東山荘で行われました。全国のYMCAよりボランティア、スタッフとそして、大学YMCAの学生など総勢140名が参加しました。驚いたことにそのほとんどが20

歳代の若者でした。10数年ぶりに参加した私は、まず自分の居場所を探すのに大変でした。かつての日本YMCA大会とは打って変わってどちらを見ても若者ばかり。初日は話をする相手を探すのにあちらこちらをウロウロ。なぜ私はこの大会に参加したのかと考え込んでしまいました。大会のテーマは「昨日、今日、明日～つなげようYMCAのねがい」で過去の歴史を振り返り、現在の活動を検証して、未来にYMCAの使命を伝えていくことでした。

2日目の選択式プログラムで、富山YMCAのフリースクールの生徒と話をすることがありました。“中学生になって、学校に行くのは嫌いだ！”と本気で思い始めました。そしてついに学校に行けず、中学の卒業式は一人でした。卒業証書をもらうだけと思って校長室に入ると友達みんなが集まってくれました。涙が止まりませんでした。YMCAのフリースクールに入り、少し笑うことができるようになりました。ある日、初めて先生に自分のことを話して泣いたら、先生が「今は悩めばいい」と言ってくれて、すごく気が楽になりました。それから私は、辛くても悩む時は悩んだほうがいい、なにも考えたくないときはゆっくり休めばいい。結局、自分で納得して、自分の道を切り開いていくことが大切なのだということを知りました”と語ってくれました。

私は彼女との話に感動し、このことを大学のゼミで話しました。戦後2度目の「就職氷河期」の中で、わずかな可能性にも夢があることを信じて就職活動をしている学生たちです。授業では陽気に面接での失敗談をしています。しかし、その眼差しの奥に不安と闘っている若者の実像が見えてきます。誰もいなくなった教室で一人の学生が話しかけてきました。“もう50回以上の会社の面接を受けました。内定もとれませんが。これ以上母親にも話せません。心配するからです。大学に残るのもお金が掛りできません。春になると社会人になれると思っていた希望にも見放されてしまったようです”と恥ずかしそうに話してくれました。

YMCA大会に参加したスタッフの一人は、その印象を“YMCAとは「出会い」が準備されているところです。日常生活には多種多様な人々との出会いで溢れている。その出会いの中で、私はどのような想いで皆と向き合っているのかを省みる機会となったと”と記しています。

私は、37歳の時ベトナムでの難民救済事業に自分で手を挙げて参加しました。YMCAの仕事に疲れ、自分はどこへ行くのかと悩んでいた時、そっと背中を押してくれたのが聖書の「良きサマリア人」の譬え話でした。それは、イエスと議論していた律法学者が最後に「では、私の隣人とは誰ですか」と問いました。イエスはその問いに対して「隣人は誰かではなく、誰れが隣人になったかです」そして「行って、あなたも同じようにしなさい」と答えられたのです。

2月例会案内

3日(金)

通常例会

京都まちづくりセンターの職員さんをお迎えして、京都のまちづくりについてのお話をお伺いします。

17日(水)

通常例会

EMCアワー:メンバー増をテーマとして、何をどうすればいいのかを話し合います。

例会出席

1月第1例会	10名
1月第2例会	13名
在籍者数	15名
出席率	86.7%
前回出席修正	

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ

1月第1例会	0円
1月第2例会	2,000円
累計	52,000円

ファンド

	0円
累計	302,965円

強調
月間

TOF・CS・FF

TOF・CS・FF 資金はワイズ活動のエネルギーの源、おいに活用しましょう。
遠藤通寛 地域奉仕事業主任



平成22年1月8日（金）新年例会が「清水順正おかべや」で催されました。食事の前の臨時総会で次期・次々期の会長が承認され、私としては有難い思いでした。

私個人は、清水寺への参道を歩いたのはたぶん10年ぶりぐらいですが、ライトアップの時期も終わっていたので、観光客もいないひっそりとした参道を歩き「おかべや」を見つけた時はホッとしました。

多くのメネットや、検査入院されていた廣井ワイズも本調子ではないながら参加して下さいました。お料理は、湯豆腐以外に食べきれないほど次から次へと出てきて、お腹がはち切れそうになったワイズがほとんどだったのではないのでしょうか？次期会長の森ワイズより、メンバーが一人ずつメンバー候補を連れてくれば、メンバーは増える。連れて来られない課題を一つ一つ取り除いていくことが出来ればメンバーを増やすことが出来るんじゃないか？と力強い言葉が有り、私自身もあと残り5カ月精一杯頑張ろうと、決意を新たに新年例会でした。



1月8日（金）19時より清水順正『おかべや』で今年最初の例会が持たれた。金丸会長の年頭の挨拶に続き、例年の如く臨時総会が持たれ、次期会長に森伸二郎ワイズを、又、次々期会長に岡西博司ワイズを参加者全員で承認した。

森次期会長は、挨拶の中で新メンバー獲得の為に今後何をすべきかを問いかけられた。これまでも自身が会長在任のときから言い続けてきていることと同様に、一人のメンバーが一人の新入会員を連れてくれば、すぐにメンバー数は倍増するという点を繰り返された。「簡単なことです。実行しましょう！」と。簡単そうで実はこれがなかなか大変なことだが、メンバー全員がこうした意識を持つこと、新メンバーを温かく迎えていこうとする積極的な意識を持つことが、今後のプリンスの発展にかかっていると思う。「実行しましょう！」本当にそう思います。メンバー丸となって新入会員獲得に奮闘努力しましょう。

京都部西村メネット事業主査から2月28日に開催されるチャリティーイベントのアピールがなされた。メン・メネットの交流のみならずワイズの外へ向けての広報や、引いては新入会員獲得の場になればとの願いから開催するとの趣旨の説明があり、一般の友人や会員候補を多く招いてほしいとの要請があった。プリンスメネット会も協力体制にあり、こちらもクラブを挙げて積極的な協力をしていこうということになった。

岡西次々期会長の乾杯の発声で宴が始まりました。各テーブルにメネットが混じり、温かい湯豆腐を囲んでみんなで“ワイズがやがや”、各テーブルどんな話題がテーブルに載ったのでしょうか！

当初は、メン・メネット全員参加を呼びかけて会場選び等努めてきたが、メンバーは11名と出席が少なく残念だった。が、5名のメネットの参加を得て華やか（?!）な例会になった。ほっこりした、新年例会ではあった。

ドライバー委員長としては、残り半期楽しい例会になるよう、多種多様なゲストを招いて、メンバーが新入会員を連れて来安環境づくりに努力していくつもりでいる。メンバーもその点を汲んでいただき、忌憚のない意見をお聞かせいただくと同時に、多くのメンバー候補を招いてください。

下半期も、より良い活動ができるよう努力したいと念じている。



東京サンライズクラブからの報告

いつもなら2月の第二例会でBFの使用済み切手整理をするのですが、今年は国際の会計年度の変更に伴い締切りが一月早くなったので、1月の第二例会で行なうことになり、新装なった我が家のお披露目を兼ねて、一品持ち寄りのパーティーを行ないました。

午後3時を幕開けに三々五々来ていただき、ある程度集まったところで切手切りを始めました。途中で散歩に行かせてもらい、ほとんどが集まった5時頃からパーティーを始めました。各自持参の自慢の手料理や、手抜き(?)の出来合いの料理をそれぞれ味見し、お酒も進み、和やかなパーティーでした。変に真面目なサンライズ、ひとしきり楽しんだ後、誰かが残りの切手切りを始めたら、いつの間にか皆で切手切りをしていました。もちろん、口は相変わらず動いていましたが（飲んだり、食べたり、話したり）。

作業も完了し、話の続きをする者、家路につく者、居眠りをする者、いつまでもパーティーは続けました。夜も更けて、奥さんに迎えに来てもらう者、自転車帰る者、最終電車に間に合った者、乗り遅れて我が家に泊まる者、様々でした。



例年のごとく、1月第二例会は半期総会です。今期金丸会長期も折り返し、各事業委員長より半期の報告がなされました。以前の総会に比べ質疑をされるメンバーも少なく三役及び役員の方々にとっては物足りない思いがあるかも？クラブにおける2度の総会はクラブ運営及び活動における最高決定の場であるとともに、今後のためにも大切な時間であるとの認識で、メンバー一同の活発な議論の場であってほしいと思います。（発言が少なすぎるかも）この半期総会に於いて前期からの懸案であった広義会員制度の導入が詳細を含め承認されました。今後この制度がプリンスクラブにとって良き制度となるように各メンバーで考慮頂ければ意義ある取り決めが出来たと思います。



1月第2例会は、半期総会でした。金丸会長からの、現在の問題点を洗い出してよい25周年を迎えようとお話で始まりました。おいしい食事の後に開催された総会は、定足数10名の所13名の出席でした。三村議長の司会の下、事前に各自に届けられた議案書の4本の議案が審議されました。1号議案として金丸会長期前半の各委員会の報告がありました。主な質疑としては、サバエの植樹について後半も引き続き資金を確保してすすめようとの件、また星空観望会について次回はいつ頃開催するののかとの件で日程的には4月頃になりそうとのこと、さらに東広島とのDBCを積極的にすすめるのかの件はどう発展させるのかをよく検討してからということになりました。2号議案の会計報告については、前期未収金の件と入会金の金額について、議論が交わされました。3号議案として、広義会員制度が導入され、広義会員の会費金額や導入に伴う会則等の改正が提案されました。さらに4号議案として、最近の実態に合わない部分の会則の改正が提案されました。いずれの議案も賛成多数で承認され、多少時間は押しましたが金丸会長期後半に向けクラブの現状を見直すよい機会となった総会でした。



京都部チャリティーボーリング しょうざんボール

2010年1月24日
岡西 博司



200名からのメンバーの参加で、しょうざんボーリング場は、大入り満員と言った感じである。京都地区16クラブとそのサポート先の施設の子供達がわいわいがやがやと賑やか。さすが京都のワイズと言った感じである。我プリンスクラブのメンバーは、金丸会長夫妻と息子、小野委員長夫妻と二人のお子さん、廣井さんと娘さん御夫妻、西村夫婦、永濱さん、そして私。やはり、ボーリングは家族で遊ぶ物でしょうね。僕と永濱さんはちょっと肩身が狭い、そんな感じです。

2ゲームの争いで、女性、子供、61歳以上の方にはハンディが与えられています。4歳の小野君の息子、廣井さん、そしてメネットさんには、・・・昔取った杵柄のはずだったのですが、なぜかスペアが取れない。ちょっと横を見ると、廣井さんは病み上がりのせいか、元気が無い。これまたスペアが取れていない。やはり年に一度のボーリングでは、思うようにいかない。悔しい気持ちも、色あせてくる。やはり年か！・・・

優勝は、エイブルの上澤君、準優勝はトップスの乙坂君、共に僕と同じ年ではないか。まだまだ若いもんには負けへんぞ！そんな感じで頑張っているのだろうか？まだまだ団塊の世代は存在感をかもし出している。プリンスクラブからの参加者には、何も景品が無いと思っていたら、約一名私の名前が呼ばれました。50位賞と言うことで、カイロを頂きました。みんなに年相応の景品やぞ！って言われ、くやしい～。でも、みんなでやがやと楽しい一時でした。来年は、ちょっと練習をしてこの大会に臨みたいものです。ボーリング例会なんて、どうでしょう？



YMCAって何してるの？ どんな人が居るの？

植田 千尋



京都YMCAグローバルアウトドアクラブでは、「アウトドアクラブ」・「サマーキャンプ」・「スキーキャンプ」の事業を行っています。その中で私の役割は、プログラムの募集/受付/準備/報告の事務仕事です。どんなプログラムを行なっているのかわかりやすく伝えるには？そのプログラムの魅力は？どうすればたくさんの方に参加していただけるのか？また参加したいと思ってもらうには？を考えながら業務に取り組んでいます。

今は、スキーキャンプの真ただ中。事務所には「靴下を探しています」「自分のものではないタイツが入っていました」の忘れ物に関するお問い合わせの電話がかかってくる。きちんと持ち主に返れば良いのですが、探されているものがみつからなかったり、名前の記入がなく、誰にも返っていかなくなったりする忘れ物もたくさんあります。忘れ物の山を見ながら、物を大切にする気持ちを参加者・保護者・リーダー・スタッフと共有できればいいなと考えています。

メンバー自己紹介コーナー 自己趣味紹介



今年、還暦を迎える昭和25年生まれの私ですが、いまだ現役のスポーツマンです。そのスポーツとはサッカーで、高校から始めて途中何年かの中断もあったものの、今も続けています。

現在は、日本サッカー協会京都フットボール連盟の公式リーグで、シニアリーグというものに所属しています。チーム名は北嶺シニアという洛北高校のOBチームで、35才以上のシニアリーグでは、チームメンバー平均年齢は約55才と、リーグの中では高齢の方です。しかし、チームメンバーに元日本代表キャプテンが2名いる上に、体育教師も何人かいて、ほとんど毎年優勝か準優勝といった強豪チームです。

この年齢でのスポーツとしてはハードなのですが、シニアルールというのがあるって、ピッチへの出入りは何回でも可能です。ボールに触れると年のことは忘れてしまい、時に膝をすりむき、吐き気を催しながらも、皆素晴らしい笑顔で走り回っています。走り回るといのは、本人が思っているだけで、若い時と比べたらペタペタという感じに見えるかもしれません。しかし、勝負のあるスポーツ、優勝とかがかかった試合になると皆の目つきが変わってきます。タックルも辞しません。楽しいものです。まだまだ続けていきたいと思っております。

2月「TOF」月間に寄せて

京都YMCA総主事 神崎清一

冬の朝未明に起きた神戸での大震災。突然に恐怖と悲しみそして不安の中へと「小さくされた」人々。そのお一人おひとりにその後のストーリーが存在した15年でした。

私たちが多くのことを学びました。人は寄り添ってでしか生きていけないこと、そして寄り添って生きることが私たちにとって素晴らしく大きなものであること。ボランティアのあり方とその可能性。ワイズメンズクラブ、YMCAの働きの可能性や地域と協同のありかた。「民」と「官」の限界と連携の必要性。世界中の人が痛みや喜びを共有していること。

さて1月には、世界の最貧国の一つであるといわれているハイチで、まさに未曾有な災害が起こってしまいました。小さくされた人々のことを憶え祈ります。私たちの手と足を使わせてください。世界の人が平和な社会で、平安に生きることが出来ますように。

2月に京都YMCAは121周年を迎えます。「YMCAの使命」と「会員の役割」について、皆さんと共に改めて思いを語る機会でもあります。

国際大会便りパートⅡ



今回は、初日の開会式の後にある基調講演についてお知らせいたします。

大会のテーマは「環境」。キーノートスピーカーはそのテーマに相応しく、環境ジャーナリスト・翻訳家として、環境を軸としたマルチな活動を展開されている、枝廣淳子（えだひろじゅんこ）さんです。枝廣さんは、1962年生まれの47歳。アル・ゴア米副大統領の著書「不都合な真実」の記者としても知られている他、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」のメンバーやスイス国際サステナビリティ・イノベーション評議会評議員などを務められています。

ウェブサイト上でも、地球温暖化に関わる世界の最新情報をお届けする『日刊温暖化新聞』やメールマガジンの発行などで啓発活動を展開しています。日本から世界のワイズメンに向けて発信するメッセージが今から楽しみです。基調講演は一般の方にも公開し、ワイズの地域社会における認知度を高める機会にもしたいと考えています。

1.春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。※チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作ができる方 中上級者向き

コース名	対象	日程	行き先
リトルキッズスキー春	小学1年～2年生	3月26日(金)朝～30日(火)朝	志賀高原
小学生スキー 春	小学3年～6年生	3月26日(金)朝～30日(火)朝	志賀高原
中高生スキー春	中学1年～高校3年生	3月24日(水)夜～30日(火)朝	野沢温泉
チャレンジスキー 春	小学4年生～高校3年生	3月24日(水)夜～30日(火)朝	野沢温泉

2. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度募集を行います。受付はお電話にて受け賜います。

スイミングスクール、幼児・少年体育活動は、2月24日(水)午前10時より 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブは、2月25日(木)午前10時より 電話075-231-4388

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツ、磯観察やクラフトなどのプログラムの中から、グループ毎に選択して楽しめます。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。きっと新しい友達がたくさんできるでしょう。

場所：神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡余島)

日程：3月27日(土)～31日(水)4泊5日

対象：小学校3年生～高校3年生 [2009年度]

費用：54,000円(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

4. 2009年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多く少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈ってともに祝いたいと思います。

日時：3月14日(日)午後2時～5時30分[予定]

場所：京都YMCA三条本館マナホール

5. 創立121年会員集会

創立121年を迎える今回は公益財団法人認定に向けて新しい会員のあり方を考えます。

日時：2月13日(土) 於：マナホール

第1部記念礼拝 午後6時～6時30分

第2部会員について協議 午後6時30分～8時30分

6. リトリートセンター主催 “季節の自然を楽しむ”

シリーズ第3弾

『自分で描くネイチャー絵はがき』画家の坂井昇さんを講師としてお招きし、自然の草木や木の実のスケッチから、絵付けまでの手法を学びます。

日時：2月28日(日)午前10時～午後4時

場所：京都YMCAリトリートセンター(宇治市二尾)

講師：坂井 昇さん 日本画家)

対象：18歳以上の方 定員30名(先着順)

参加費：会員2,300円/一般2,500円(画材・昼食代含)

7. 春休みスイミング・デイキャンプ・鉄棒とび箱が好きになる教室ご案内

受付：会員とその兄弟2月4日(木)午前10時～

会員・一般2月4日(木)午後2時～

2009年度冬休みのプログラムにご参加いただいたシーズン会員の方は10時より受付ます。

A. 春休みスイミングスクール

期間：3月25日(木)～30日(火)連続6日間

対象：新年中・新年長(平成16年4月2日～平成18年4月1日生)／新小学1年生～新中学3年生

場所 京都YMCAウェルネスセンター三條 室内温水プール

費用8,000円[会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。]

B. デイキャンプ日帰り連続5日間

◎幼児たんぼぼ 期間3月26日(金)～30日(火)

午前9時30分～午後4時30分

対象：現年少/年中(平成16年4月2日～平成18年4月1日生)定員50名

費用：35,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

◎小学生つくしんぼ 期間3月26日(金)～30日(火)午前9時～午後5時

対象：現年長/現小学3年生(平成12年4月2日～平成16年4月1日)定員30名

費用35,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室 連続5日間

定員各クラス15名

日時：3月25日(木)～29日(月)連続5日間

対象：Aクラス新小学1年生～4年生 午前9時～10時10分

Bクラス新年中～小学2年生 午前10時25分～11時35分

Cクラス新年中～小学2年生 午後1時～2時10分

Dクラス新小学1～4年生 午後2時25分～3時35分

場所：京都YMCAウェルネスセンター三條 地下マナホール

費用：10,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

Happy Birthday

February

- 1日 廣井武司 ワイズ
- 13日 北野功治 ワイズ
- 17日 岡西博司 ワイズ

今月のスケジュール

2月

- 3日(水) TOF例会 グランドプリンスH
- 13日(土) YMCA会員集会 マナホール
- 17日(水) EMCアワー例会 グランドプリンスH
- 24日(水) 役員会 京都YMCA
- 28日(日) 京都部メネット・チャリティー事業 ウェスティン都ホテル

役員会報告

<承認された議案>

- 廣井ワイズお見舞金1万円
- ハイチ地震災害支援金1万5千円ニコニコより拠出
- 3月第一例会例会場変更の件

「すべての命を大切に メッセージ from 京都」

協力をお願い

来る2月28日(日)ウエスティン都ホテルにおいて京都部メネット事業としてチャリティーイベントを開催させていただきます。例年部会において開催されているメネットアワーに変わるもので、京都部全体の活性化にメネットの力を少しでもお役に立てたいと企画いたしました。部内のメネットさんが楽しく交流を図れ、かつその交流の場が、ワイズメンズクラブの存在の体的なアピールの場になればとの思いで一般の方々にもご参加いただけるスタイルのチャリティーイベントといたしました。

現在、朝日新聞等でも取り上げられている、京都の若手文化人のホープお二人をお招きし活気あるパフォーマンスを見せていただき、力を得たいとの企画です。詳細はお配りするチラシをご覧ください、メンは新入会員候補をメネットはお友達をお誘いいただき沢山でご参加いただいでイベントを盛り上げていただきたいと思います。

また参加費の一部と、同時に開催させていただくミニバザーの収益をメネット事業に役立てたいと思っています。こちら会員からの品物のご提供をお願いしています。

趣旨をご理解いただき、できる範囲での熱いご協力をお願いいたします。

何分こうした企画が部内でも初めてということで、メンの方々のご理解も難しい部分もあります。が、なんとしても「555」のためにも成功させたいと思っていますし、西日本区EMC主任を輩出しているクラブでもあるプリンスクラブの熱いご尽力をお願い致します。ご夫婦おそろいでぜひ参加してください。きっとお楽しみいただけるとおもいます。

又、金丸メネット会長を始めプリンスクラブのメネット様にはお手伝いをお願いすることとなりますが、なにとぞよろしくお願ひいたします。

京都部メネット事業主査
西村 寛子



チャリティーイベント



楽しい気持ち、思いやりは心...
生きとし生けるもの全てに注ぎたい

近年増え続ける若者の自殺...
知らないうちに近づいてくるエイズの影

正しく自分たちのおかれていく状況を把握し、皆でもっとポジティブに命を謳歌していきたい...
そんな願いをこめて熱いメッセージを「京都」からお届けします



華道 笹岡未生流次期家元 笹岡隆南氏 と
詩人 chori氏 (千 明史氏)
お二人の洒落たトークと素敵なパフォーマンスを
共に楽しみましょう



京都部ワイズメンズクラブ会員のご協力による
ミニバザーも開催します
たくさんのお仲間と共にぜひご参加下さい!

日時:2010年2月28日(日)
10時30分 バザー開始
11時 受付
11時30分 閉宴(14時 閉宴)
会場:ウエスティン都ホテル京都 瑞穂の間(自由席)
会費:6,000円(お食事付)
主催:ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部 メネット会
このイベントによって生まれた淨財は、ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区京都部メネット会を通じて燃るべき事仕先に寄付させて頂きます